

福崎町子ども議会会議録

平成28年8月20日(土)

午前9時30分 開 会

1. 平成28年8月20日、福崎町子ども議会は、福崎町役場に招集された。

1. 出席議員 14名

1番	松田 暁光	8番	西井 麗愛
2番	鷹野 千帆	9番	辻川 誠大
3番	小西 依吹	10番	羽室 美彩妃
4番	森 貞 風	11番	藤本 卓也
5番	柳田 航佑	12番	大塚 まひろ
6番	河嶋 小春	13番	佐藤 充
7番	白井 悠翔	14番	日下部 奈央

1. 欠席議員(なし)

1. 事務局より出席した職員

事務局 長 木ノ本 雅佳 主 査 佐野 允保

1. 説明のため出席した職員

町 長	橋本 省三	副 町 長	尾崎 吉晴
教 育 長	高寄 十郎	技 監	村上 修
公 営 企 業 参 事	近藤 博之	会 計 管 理 者	木村 千晴
総 務 課 長	山下 健介	企 画 財 政 課 長	吉田 利彦
税 務 課 長	尾崎 俊也	地 域 振 興 課 長	松田 清彦
住 民 生 活 課 長	谷岡 周和	健 康 福 祉 課 長	三木 雅人
農 林 振 興 課 長	松岡 伸泰	ま ち づ く り 課 長	福永 聡
社 会 教 育 課 長	大塚 久典	学 校 教 育 課 長	岩木 秀人

町 議 会 議 長 難波 靖通

1. 議事日程

第 1 会議録署名議員の指名

第 2 一般質問

第1番 松田暁光

(1) 食育について(給食の無料化、もち麦のPR・活用を望む)

第2番 鷹野千帆

(1) 生活環境について(クーラー、エレベーターの設置を望む)

第3番 小西依吹

(1) 人権について(福崎町の人権尊重の方針・方策は)

第4番 森貞 風

(1) ボランティア、住民参加について
(福崎町で行われるボランティア活動は)

第5番 柳田航佑

(1) もち麦について(もち麦を活用し、町おこしを望む)

- 第6番 河嶋小春
 - (1) 町民プールについて
 - (健康増進のため、町民プールの建設を望む)
- 第7番 白井悠翔
 - (1) 交通安全対策について (通学路に信号機の設置を望む)
- 第8番 西井麗愛
 - (1) 春日山城について (春日山城を中心としたイベント開催を望む)
- 第9番 辻川誠大
 - (1) 福崎駅周辺整備について
 - (商業施設整備、買い物ボランティアの整備は)
 - (2) 高齢者福祉について
 - (高齢者が集える場所の充実を)
- 第10番 羽室美彩妃
 - (1) 災害(地震)対策について (災害に対する備えはできているか)
- 第11番 藤本卓也
 - (1) 観光(妖怪・もち麦)について
 - (これからの福崎町の観光振興方針・方策は)
- 第12番 大塚まひろ
 - (1) 農業(獣害)について (福崎町の獣害対策及びその広報は)

1. 本日の会議に付した事件

第 1 会議録署名議員の指名

第 2 一般質問

- 第1番 松田暁光
 - (1) 食育について (給食の無料化、もち麦のPR・活用を望む)
- 第2番 鷹野千帆
 - (1) 生活環境について (クーラー、エレベーターの設置を望む)
- 第3番 小西依吹
 - (1) 人権について (福崎町の人権尊重の方針・方策は)
- 第4番 森貞 凧
 - (1) ボランティア、住民参加について
 - (福崎町で行われるボランティア活動は)
- 第5番 柳田航佑
 - (1) もち麦について (もち麦を活用し、町おこしを望む)
- 第6番 河嶋小春
 - (1) 町民プールについて
 - (健康増進のため、町民プールの建設を望む)
- 第7番 白井悠翔
 - (1) 交通安全対策について (通学路に信号機の設置を望む)
- 第8番 西井麗愛
 - (1) 春日山城について (春日山城を中心としたイベント開催を望む)
- 第9番 辻川誠大
 - (1) 福崎駅周辺整備について
 - (商業施設整備、買い物ボランティアの整備は)
 - (2) 高齢者福祉について
 - (高齢者が集える場所の充実を)

第10番 羽室美彩妃

(1) 災害(地震)対策について(災害に対する備えはできているか)

第11番 藤本卓也

(1) 観光(妖怪・もち麦)について

(これからの福崎町の観光振興方針・方策は)

第12番 大塚まひろ

(1) 農業(獣害)について(福崎町の獣害対策及びその広報は)

1. 開会及び開議

事務局 長 皆さん、おはようございます。

高い席からですが、開会に先立ちまして、一言ご挨拶と注意事項をお知らせいたします。

私は議会事務局長の木ノ本です。

本日の子ども議会は、前半の議長を福崎西中学校の佐藤充議員、後半の議長を福崎東中学校の日下部奈央議員に務めていただきます。

本日の会議は傍聴席からの撮影が許可されておりますが、議事の進行と他の傍聴されている方の妨げとなるため、フラッシュと三脚のご使用はご遠慮ください。

また、私語、雑談につきましても、議事の進行と他の傍聴されている方の妨げとなりますので、謹んでいただきますよう、お願いいたします。

なお、本日、この子ども議会の様子をサンテレビの方が、今、中継に来られております。

本日の会議の様子は、9月10日(土)午前9時からのサンテレビのサタデー9で放映される予定となっておりますので、あわせてお知らせいたします。

それでは、前半の議長をつとめていただきます福崎西中学校の佐藤充議員、議長席に着席をお願いいたします。

佐藤議長 皆さん、おはようございます。

私は、福崎西中学校の佐藤充です。本日の子ども議会において、前半の議長を務めます。どうぞよろしくお願いいたします。

福崎町子ども議会の開会に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

まだまだ暑い日が続きますが、子ども議員の皆さんには、本日は早朝からお集まりいただき、ありがとうございます。

開会に先立って、子ども議員の皆さんから、簡単な自己紹介をお願いします。

議席の番号順に学校名と氏名をそれぞれ自席でお願いします。

議席番号1番、松田暁光議員からお願いします。

松田暁光議員 福崎小学校の松田暁光です。

佐藤議長 議席番号2番、鷹野千帆議員、お願いします。

鷹野千帆議員 福崎小学校、鷹野千帆です。

佐藤議長 議席番号3番、小西依吹議員、お願いします。

小西依吹議員 高岡小学校、小西依吹です。

佐藤議長 議席番号4番、森貞風議員、お願いします。

森貞風議員 議席番号4番、森貞風です。

佐藤議長 議席番号5番、柳田航佑議員、お願いします。

柳田航佑議員 田原小学校の柳田航佑です。

佐藤議長 議席番号6番、河嶋小春議員、お願いします。

河嶋小春議員 田原小学校、河嶋小春です。
佐藤議長 議席番号7番、白井悠翔議員、お願いします。
白井悠翔議員 八千種小学校の白井悠翔です。
佐藤議長 議席番号8番、西井麗愛議員、お願いします。
西井麗愛議員 八千種小学校、西井麗愛です。
佐藤議長 議席番号9番、辻川誠大議員、お願いします。
辻川誠大議員 福崎西中学校の辻川誠大です。
佐藤議長 議席番号10番、羽室美彩妃議員、お願いします。
羽室美彩妃議員 福崎西中学校の羽室美彩妃です。
佐藤議長 議席番号11番、藤本卓也議員、お願いします。
藤本卓也議員 福崎東中学校、藤本卓也です。
佐藤議長 議席番号12番、大塚まひろ議員、お願いします。
大塚まひろ議員 議席番号12番、福崎東中学校の大塚まひろです。
佐藤議長 議席番号14番、日下部奈央議員、お願いします。
日下部奈央議員 福崎東中学校の日下部奈央です。
佐藤議長 最後に、福崎西中学校、佐藤充です。

ここで、本日の子ども議会にご出席いただいている橋本町長より、ご挨拶をいただきます。

町長 皆さん、おはようございます。

本日の子ども議会の開催を、大変楽しみにしていました。

議員になってくださった14名の皆さん、本当にありがとうございます。

福崎町は、本年5月3日をもちまして、町制施行60周年を迎えました。

旧福崎町、田原村、八千種村が合併し、福崎町になり、60歳になりました。

人間でいえば還暦に当たり、新たな人生のスタートといえますが、行政は社会の仕組み上終わりがございません。住民の皆さんの生活を、よりよいものにするために、時代に合った行政運営ができるよう、職員も努力しているところであります。

本日の子ども議会は、町制60周年記念事業の一環として開催いたします。

前回の子どもの議会の開催は、平成元年で、27年ぶりの議会の開催となります。

皆さんからいただきました一般質問を見させていただきますと、内容は多種にわたり、鋭い視点で、現在、福崎町が抱えている課題が挙げられています。

福崎町の歴史を振り返りますと、教育、文化及び福祉の町だと言われていました。

その上に立って、現在における分野につきましては、公園などの環境整備や下水道などのインフラ整備を行っています。

地方の時代だと言われております現在では、地方創生、まち・ひと・しごと創生が提唱され、福崎町におきましても、自立性、将来性、地域性を生かした事業に反映させているところであります。

福崎町が、平成28年度に取り組んでいます重点事業は、JR福崎駅周辺整備、辻川界限におけるおもてなし観光、少子化に対する子育て支援、高齢者が住みなれた地域で安心・安全で暮らせる環境づくり、地震災害や集中豪雨に対する防災・減災事業などであります。

また、特産品でありますもち麦は、水溶性食物繊維が多く含まれ、健康ブームで全国から注目を集めており、もち麦フォーラム開催のほか、健康食品の保健機能食品のとしての表示ができるよう、県立大学と協力して研究を重ねているところであります。

現在、皆さんに行政に積極的に参加していただく方法として、行政懇談会の実

施や、各種委員会への一般公募を行っておりまして、参画と協働のまちづくりを進めているところであります。

行政懇談会では、住民の皆さんの思いやご意見を直接お聞きし、行政に反映させていただくこととしています。

町制施行60周年のキャッチコピーは、福崎西中学校、川端海斗さんの「つなげよう、ひろげよう、未来へつづく福崎町」であります。本年1年間、このキャッチコピーを各行事に使わせていただきます。この川端さんがつくられたキャッチコピーと、福崎町第5次総合計画のキャッチコピーである「活力にあふれ、風格のある、住みよい町、住んで学んで働いて、未来につながる福崎町」には、相通ずるものがございます。

まだまだ発展の素地のある福崎町ですから、皆さんからいただいた一般質問での提言、要望に真摯に取り組んでまいります。

国、県におきましては、早くも平成29年度予算に取り組んでいます。福崎町単独では財源がなく、取り組めない事業につきましては、補助金、交付金という名目で、国や県に助けてもらわなければなりません。

そのためにも、一生懸命、職員ともども一丸となって、町政に取り組むことを、皆様方にお約束をし、開会の挨拶とさせていただきます。

本日、よろしくお願ひいたします。

佐藤議長 ありがとうございます。

次に、町幹部の皆さんの自己紹介を、町長から順番にお願いします。

町長 町長の橋本省三でございます。

福崎小学校、福崎中学校の卒業生であります。

職員ともども本日の一般質問、一生懸命答弁させていただきます。よろしくお願ひをいたします。

副町長 副町長の尾崎吉晴です。

高岡小学校、福崎中学校の卒業生です。よろしくお願ひいたします。

教育長 教育長の高寄十郎です。

福崎中学校、福崎西中学校、田原小学校で先生をしておりました。どうかよろしくお願ひします。

技監 技監の村上修でございます。

今年の4月から福崎町役場で技監を務めさせていただいております。どうぞよろしくお願ひいたします。

公営企業参事 公営企業参事の近藤です。

私は、田原小学校と、今は福崎東中学校ですけども、当時の田原中学校を卒業いたしました。どうぞよろしくお願ひいたします。

総務課長 総務課長の山下でございます。

高岡小学校、福崎中学校を卒業いたしております。どうぞよろしくお願ひいたします。

会計管理者 会計管理者の木村千晴でございます。

私は、市川町から来ております。男性の中で、女1人で頑張っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

地域振興課長 地域振興課長の松田でございます。

田原小学校、田原中学校の卒業生です。どうぞよろしくお願ひいたします。

企画財政課長 企画財政課長の吉田でございます。

福崎小学校、福崎西中学校の卒業生であります。よろしくお願ひ申し上げます。

健康福祉課長 健康福祉課長の三木でございます。

福崎小学校、福崎中学校の卒業生でございます。どうぞよろしくお願いたします。

住民生活課長 住民生活課長の谷岡です。

八千種小学校、それから八千種中学校の卒業生です。よろしくお願いたします。

税務課長 税務課長の尾崎と申します。

福崎小学校、福崎中学校の出身でございます。本日はどうぞよろしくお願いたします。

まちづくり課長 まちづくり課長の福永聡でございます。

田原小学校、田原中学校の卒業生でございます。よろしくお願いたします。

社会教育課長 社会教育課長の太塚でございます。

姫路市香寺町出身です。よろしくお願いたします。

学校教育課長 学校教育課長の岩木です。

福崎小学校、福崎西中学校の卒業生です。よろしくお願いたします。

農林振興課長 農林振興課長の松岡です。

福崎小学校、福崎中学校の卒業生です。よろしくお願いたします。

佐藤議長 以上で、子ども議員、町幹部の自己紹介が終わりました。

なお、本来の議会では、議長席におられる難波議長が理事者席に、議員が傍聴席におられます。

理事者席におられる難波議長に自己紹介をお願いします。

難波議長 皆さん、おはようございます。

今日は、子ども議会、大変ご苦労さんでございます。

私は、今、紹介がございましたように、議長の難波でございます。

八千種小学校、今はなくなりましたが、八千種中学校の出身でございます。よろしくお願いをいたします。

佐藤議長 ただいまの出席議員数は14名です。定足数に達しています。

よって、福崎町子ども議会が成立したことを宣告します。

それでは、これより本日の会議を開きます。

これから日程に入ります。本日の日程は、お手元に配付している議事日程に記載のとおりです。

日程第1 会議録署名議員の指名

佐藤議長 日程第1は、会議録署名議員の指名です。

会議録署名議員の指名は、会議規則第127条の規定により議長が指名いたします。

9番、福崎西中学校、辻川誠大議員

11番、福崎東中学校、藤本卓也議員

以上の両議員にお願いいたします。

日程第2 一般質問

佐藤議長 日程第2は、一般質問です。

あらかじめ、各議員から通告されている一般質問について、議席番号順に発言を許可します。

1番目の通告者は、松田暁光議員です。

質問の項目は、食育について（給食費の無料化、もち麦のPR・活用を望む）です。

以上、松田暁光議員。

松田暁光議員 議席番号1番、松田暁光です。

僕は、食育について、2つ質問をします。

まず1つ目は、給食費のことです。

給食費は無料にはなりませんか。もしくは、安くはなりませんか。

僕たちのクラスのみんなは、給食の時間を楽しみにしています。毎日おいしく、栄養たっぷりの給食を作って下さって、とても感謝しています。

その給食が、無料になったら、どんなにいいかと思いました。

福崎町は、医療費が無料です。僕の母は、医療費がかからないことは、とてもありがたいことだと言っていました。

もし、医療費に加えて、給食費が安くなったら、他の町や市からも、もっとたくさんの方が来るんじゃないかと考えました。

2つ目は、もち麦のことです。

福崎町は、なぜ、もち麦で町おこしをしようと思ったのですか。

僕は、もち麦はいいと思いますが、少しPRが足りないと思います。町と町の境に、「もち麦の町、福崎町」などの立て札を立てたり、地域のスーパーにもっと置いてもらったり、テレビのCMを流したりしてはどうでしょうか。

それに加えて、給食にもっともち麦を使ってもいいと思います。

以上の2点について、お答えください。

町長 皆さんが楽しみにしている給食、その費用は学校給食法という法律で、給食に必要な施設、設備の整備や修理の費用、給食を作る人の給料など、町が負担することになっています。

そして、それら以外の費用、つまり、食べ物の材料代は保護者が負担することになっています。

近くの市では、減ってきている人口の増加を図るため、給食費を無料にしているところがございます。保護者が負担することになっている費用を市が負担することで、子育てをしようというものであります。

しかし、住む人の数は減ってきているのが実情であります。

給食費を無料化するには、多くの費用がかかります。福崎町の歴史は、先ほどの冒頭の挨拶でも申し上げましたように、教育、文化及び福祉と言われていま

す。先ほどの質問の中で言われておりましたように、医療費の無料化も県の施策の上乗せで行っておりまして、9,000万円以上の多額に費用を必要とする給食の無料化は、福崎町の収入規模では多くの事柄、いわゆる少子化でありますとか、高齢化でありますとか、その他医療、介護、そういったような形の中で対応させていただいておりまして、それら等、それ以外のところに費用負担をすることが、大変無理なことになっています。

利益を受ける方には、応分の負担をしていただくことになっております。

したがって、法律に基づきまして、多くの市や町と同じように、給食費をいただきまして、成長にあたる児童・生徒の皆様に質を落とさずに栄養のバランスのとれた、安全で安心なおいしい給食を提供していきます。

また、言われておりましたもち麦製品等々、精麦も含めてでありますけれども、給食には今以上に努力を重ねてまいりたいというように思っております。

続きまして、もち麦関係であります。

今から約35年位前に、九州の大分県で平松知事という方がいらっしやいまして、町や村が持っている特産品に磨きをかけようということで、地域を盛り上げていこうとする「一村一品運動」を広げてまいっておりました。

そのような中、福崎町でも、昭和20年代の食糧難の時代に栽培しておりました、もち麦のもちもち感を活かして、農業や商業を盛り上げ、福崎町を知ってもらおうと考えたのがきっかけであります。

大変、このもち麦をソバのようにするのは、非常に小麦粉のそういう繊維も含めまして、非常に技術的なものが必要で、何年もこの開発にかかったわけであります。

PRにつきましては、ホームページやパンフレットを置くなど、1人でも多くの方に知っていただけるように努めているところであります。

町の境に立て札を立てるという提案につきましては、現在、国道や県道等、幹線道路の境、町の境には、「柳田國男生誕の町、福崎町」という看板を設置しておりますが、これら等、大変古くなってきておまして、これら等を新しくするときには、このもち麦とともに、柳田國男先生の生誕の地であると、両方相まったような形の中での立て看板、そういったようなものを検討していきたいというように思っております。

地域のスーパーに、もっと置いてもらいたいという提案につきましては、具体的に言いますと、ライフやさとう、ボンマルシェ等には、現在も、もち麦めんを置いていただいておりますが、もち麦ご飯に入れる精麦につきましては、3月29日のフジテレビで麦の、この大麦のダイエット効果を紹介していただいて以来、全国から大量の注文が来ておまして、この精麦の商品が不足している状況にあります。

ことしのもち麦につきましては、5月末に収穫をいたしまして、9月ごろには店頭でも販売できる見込となりました。しばらくお待ちいただきますと、これら等がまた皆様方に提供できるというようにしております。

テレビCMの提案につきましては、最近、多くのテレビや雑誌などに取り上げていただいておりますので、十分その宣伝効果はできていると考えております。

先ほど申し上げましたフジテレビに出られた、東京赤坂の小林先生のご主人とか、先生とか、こういう方々が雑誌にも投稿していただいておりますが、これら等、十分宣伝効果が出ているのが今の現状であります。

給食につきましては、今もち麦ご飯や、もち麦粉を使った料理を食べてもらっていますが、もっと食べてもらえるよう調整していきたいと思っております。

今後も、わかりやすいもち麦のPR方法を考えていきますので、引き続き、松田議員さんにも意見をいただけたらと思っております。よろしく願いいたします。

佐藤議長 以上で、松田暁光議員の一般質問を終わります。

次に、2番目の通告者は、鷹野千帆議員です。

質問の項目は、生活環境について（クーラー、エレベーターの設置を望む）です。

以上、鷹野千帆議員。

鷹野千帆議員 議席番号2番、鷹野千帆です。

私は、教育と福祉について質問します。

まず、一つ目は、教育設備についてですが、教室にクーラーをつけてもらえないでしょうか。

私がそう考えた理由は、夏場は暑くて学習に集中できないからです。

私たちのクラスの人数は40人で、ぎゅうぎゅう詰めです。真夏の暑さの中では、勉強もはかどりません。クーラーを設置し、学習に適した教室にすることで、私たちの学習意欲ももっと上がると考えました。設置してもらえたらうれしいです。

二つ目は、北校舎にエレベーターをつけてもらえないでしょうか。

私たちの学校には、車いすで生活をしている子がいます。今は、南校舎のエレベーターを使って、3階まで上がり、渡り廊下を通過して、北校舎へ行っています。

障害がある人にとっても、過ごしやすい学校にするために、エレベーターの設置をお願いしたいです。

環境が整った、よい学校にし、この学校に通いたいからこの町に住むという人が増えてくれたらうれしいです。

さらに、福崎町内には、目が不自由な方のための音が鳴る信号が少ないと思います。学校にも、町にも、いろいろな立場の人がいます。誰もが過ごしやすい環境にさせていただくことを願っています。

以上3点について、計画があるか、お聞かせください。

副町長 今年も大変暑い夏でした。ですから、学校では最も暑い7月の下旬から8月の終わりまでは夏休みがあります。

そのことを頭に入れておいて、教室へのクーラー設置には二つのことを考えています。

教室は広いので、大型のクーラーが必要になってきます。そして、数もたくさん必要で、電気代や故障したときの修理代、動かなくなったときの入替の費用など、たくさんのお金が必要になるということが、一つです。

二つ目は、暑くても頑張る強い気持ちと、暑さに耐えられる体力を、小学生、中学生の間に身につけていくことは、今の時代でも、とても大切な教育の一つだと考えています。

この二つから、教室にクーラーを設置することは、今はできていませんが、大きな課題だと考えています。

近い将来には、希望がかなえられるように、努力していきたいと思っています。

そして、皆さんが学習に、運動に取り組みやすくなるように、これからも考えてまいります。

二つ目の質問ですが、福崎小学校の南校舎には、エレベーターが設置されています。町内で、エレベーターが設置されている学校は、福崎小学校と福崎西中学校の2校です。これは、エレベーターがないと、学校生活がおくれない子どもたちの学校として、この2校を指定しているからです。

町内の他の四つの学校には、残念ながらエレベーターは設置されておられません。エレベーターは、とても大切で、必要なものですが、多くの費用もかかります。

エレベーターの設置は、皆さんの大切なお金を使わせていただくこととなります。一定の不便さはあると思いますが、ご理解をお願いしたいと思っています。

次に、三つ目の質問の、音の鳴る信号機については、現在、福崎町では、役場前の交差点につけられています。

この信号機は、公共施設や駅の周りなど、目に障害のある方の利用が多いところにつけられています。

信号機をつけるためには、歩行者が信号待ちをするスペース、また、歩道があることも必要ですし、費用もかかるために、たくさんつけることができないの

が現状でございます。

なお、信号機をつけてくれるのは警察なので、音の鳴る信号機が必要な場所にはつけてもらえるよう、警察へ、これからもお願いをしていきたいと思っています。

以上です。

佐藤議長 以上で、鷹野千帆議員の一般質問を終わります。

次に、3番目の通告者は、小西依吹議員です。

質問の項目は、人権について（福崎町の人権尊重の方針・方策は）です。

以上、小西依吹議員。

小西依吹議員 議席番号3番、小西依吹です。

私はいつも、地域の人や学校みんなが仲よくなるためには、どうしたらいいか、考えています。

だから、私は、挨拶を大切にしています。挨拶は、人と人をつなぐ第一歩だと思うからです。

私は、実際に、挨拶で人と心がつながったと感じたことがありました。初めは恥ずかしかったけれど、勇気を出して挨拶をすると、とても爽やかな気持ちになり、その人と仲よくなれました。

高岡小学校には、みんなが仲よくなるために、1年生から6年生まで、一緒に活動する時間があったり、道徳で人権を尊重することの大切さを勉強したりしています。

教育長 福崎町では、町民の人権を尊重するために、どのようなことをされていますか。「天は人の上に人をつくらず。人の下に人をつくらず。」福沢諭吉の言葉でございます。また、日本国憲法の三大原則の1つに、基本的人権の尊重がうたわれています。

小西議員の質問は、人間がみんな、ともに仲よく暮らしていく上で、大変重要なことでございます。

福崎町では、小西議員が生まれられるずっと前の、昭和50年に、差別を許さない、明るい町宣言をしております。そして、相互に人権を尊重し合える、明るい、住みよいまちづくりに、たゆまず努力をしていくと宣言をしております。

まず、学校では、道徳の勉強以外に、高岡小学校でも行っています、杉の子学級は、名前が違いますが、全ての小学校、中学校で実施しております。

次に、これはご存じだと思いますが、福崎町の広報です。この広報の中に、小中学生の皆さんの書いてくださった人権作文やポスターや標語を載せております。

そして、これらの総まとめとして、1年の終わりに、こういう啓発冊子を出しております。今年の3月に出しました、この冊子の11ページには、今、ご質問をして下さっている小西議員の4年生のときの作文、「親子点字体験」が載っております。

このようにして、町民の多くの皆さんに、小中学生の思いを伝えるようにしております。

12月の人権週間では、エルデホールで人権フェスティバルを行っていることは、皆さんも知っていることと思います。

町内の先生方にも、人権に関する研究会を持っていただき、指導力の向上に努めてもらっております。

お父さんやお母さんには、家庭教育学級で、高齢者や会社の方も人権の研修会をしていただいております。

また、村の方々に集まっていたいで、自治会研修等も実施しております。

また、人権問題で悩んだり、困っておられる人には、人権相談を実施しております。

しかし、町内で人権問題が終了したかといえ、そうではありません。

よって、この問題に関しては、これからも町民こぞって学習を続けていかなければなりません。

そのためにも、小西議員のような、いつでも、誰にでも、自分から挨拶ができる人を、もっともっと増やしていかなければなりません。

挨拶は、人と人とのきずなづくり、人権課題解消の第一歩です。これからも続けていきましょう。

最後です。「響き合う、挨拶交わし、支え合い」。私の方からこう見えてました。失礼しました。どうぞ、はい、よろしく申し上げます。終わります。

佐藤議長 以上で、小西依吹議員の一般質問を終わります。

次に、4番目の通告者は、森貞風議員です。

質問の項目は、ボランティア、住民参加について（福崎町で行われるボランティア活動は）です。

以上、森貞風議員。

森貞風議員 議席番号4番、森貞風です。

僕は、ボランティア活動はすごくいいなと思います。

僕がしたことのあるボランティア活動は、地域の清掃活動です。お宮さんの掃除といいます。

朝早くからするので、少し眠たいけれど、終わった後の気持ちよさと達成感は格別です。

また、お宮さんを利用される方から、ありがたい言葉をもらえると、照れくさいけれど、やってよかったなと心の中でガッツポーズをします。

これからも、僕は地域の役に立つようなことをして、地域をもっとよくしたいなと思っています。そして、交流の輪も広げたいなと思っています。

福崎町では、どのようなボランティアがありますか。また、小学生が参加でき、役に立てるようなボランティア活動はありますか。

健康福祉課長 福崎町には、さまざまなボランティア活動がございます。

まずは、小学生の皆さんが学校内や下校時に危険がないか見守って下さるスクールヘルパーの方々がいらっしゃいます。

また、障害者の方々に向けたボランティア活動があります。福崎町で生活されている耳や目が不自由な方々が、会議などに参加されたときに、内容を理解することができるよう、手話などを使って通訳をするボランティア活動があります。通訳をしてくれるボランティアのおかげで、福崎町の情報を知ることができます。

次は、高齢者の見守り活動です。元気に生活をされているか、困ったことはないかなど、定期的に見守り、安心して暮らせるような環境づくりをしています。

具体的には、お弁当をお宅まで配達したり、電話をかけて、高齢者の体調を伺います。

その他にも、福崎町内の清掃活動や緑化活動をされているグループがあったり、福祉施設を訪問して、踊りや歌、マジック等を披露して、利用者に喜んでいただくグループがあります。

小学生が参加でき、役に立てるような活動につきましては、毎年、夏に行われるサマーボランティアという制度があります。これは、手話・点字・マジック

などの体験をして、ボランティアについて学ぶことができます。

他にも、収集ボランティアといって、ペットボトルのキャップや使用済み切手、書き損じたはがき等を集めて、発展途上国の子どもたちなどの手助けをすることもできます。

森貞議員の考えは、大人も見本にするような大切なことです。ぜひ、これからも気持ちのいい達成感を味わうために、活動を続けてください。よろしく願いをします。

佐藤議長 以上で、森貞議員の一般質問を終わります。

次に、5番目の通告者は、柳田航佑議員です。

質問の項目は、もち麦について（もち麦を活用し、町おこしを望む）です。

以上、柳田航佑議員。

柳田航佑議員 議席番号5番、柳田航佑です。

福崎町には、有名なものがたくさんあります。その一つがもち麦です。

僕は、もち麦ブラマンジェが作れます。家族に食べてもらって、おいしいと言ってもらえました。

僕は、もち麦が有名な福崎町なのに、もち麦を宣伝する祭りが無いと思いました。

そこで、もち麦祭りという祭りがあつたらいいと思います。

その祭りで、もち麦料理を作る体験をしてみたらどうでしょうか。もし、夏にするなら、夏休みの自由研究で来る人も多いと思います。

最近、河童や天狗も有名です。観光客もたくさん増えたと思います。

次は、柳田國男さんに関係のあるものをつくってはどうか。國男さんがソフトクリームを食べている像が欲しいです。天狗はもち麦どら焼きを食べているので、ソフトクリームはもち麦ソフトクリームがいいです。

また、河童や天狗のように、鬼追い祭りで出てくる山の神が、時間制で見られるようにしてほしいです。

僕は、20年後に福崎町がなくなるかもしれないというデータがあると聞きました。故郷がなくなってほしくないです。福崎町のことをもっと知ってもらって、多くの人に来てもらいたいです。

農林振興課長 福崎町では、平成14年ごろから自然・食・文化ふれあい事業という中で、もち麦を使った料理を積極的に取り入れてPRを行ってまいりました。

この事業が、もち麦祭りの前身のようなものではないかと考えております。

平成21年から、もち麦祭りと副題をつけて、4月に民俗辻広場まつりと同時開催して、現在まで継続しております。

当日は、もち麦生産組合の方がもち麦めんの焼きめんやもち麦入りの団子のぜんざいやすいとんを販売しております。

また、もち麦ひろめ隊によるもち麦入りのカステラを販売しております。

町内の店舗経営者の方で、もち麦を使ったクッキーなども販売しております。

柳田議員のところまで、そのような情報が届いていないことを反省しまして、もっと民俗辻広場まつりのPRに努めなければならないと感じております。

また、今年の1月で第3回目となりますが、もち麦フォーラムといって、もち麦の健康機能をもっと世の中にアピールするために、医療分野やもち麦を含む大麦の全国的な第一人者による講演会を開催したり、有名なレストランのシェフを招いて、もち麦を使った料理コンテストも開催しております。

もち麦を使った料理レシピにつきましては、毎月の広報にも掲載させていただいております。

加えて、もち麦に関するレシピ集やパンフレットも作成しております。

もち麦のよさを多くの方に知ってもらうには、まだまだ足りないということを実感しております。今後も機会があるごとに、もち麦のよさを発信していくようにしております。

柳田議員のお力添えもぜひいただいて、もち麦が本当の地域の宝になるように、努めてまいりたいと思っております。

以上です。

地域振興課長 観光に対する質問にお答えをさせていただきます。

辻川山公園は、柳田國男さんの書かれた本に出てくる河童や妖怪を使って、楽しい公園にしていきたいと考えていますが、現在のところ、柳田國男さんの像を増やす予定はありません。

しかし、柳田議員の言われる、もち麦ソフトを持った柳田國男さんといった、遊び心たっぷりのアイデアを参考にしていきたいとも思います。

鬼追いに出てくる山の神は、病気を治す仏様、薬師如来の化身とされていることから、飛び出てくる銅像としては整備していくことは難しいですが、山の神が出てくる鬼追いは、他には余りないので、町内の観光資源として、積極的にPRしていきたいと考えています。

福崎町がなくなってしまうかもしれないという予想は、今後、皆様のような若い人が学校や就職等で大都市に転出してしまおうと、福崎町がなくなってしまうかもしれません。そうならないためにも、福崎駅前をきれいにしたり、学校や体育館を地震が来ても壊れないようにするなど、みんなが住みやすいまちづくりを進めています。

福崎町をなくしたくない。それは私の望みでもあります。そのためにどうしたらよいかを一生懸命考えていきます。

柳田議員からも、福崎町のよいところをたくさん人に伝えていただきたいと思えます。そうすれば、願いは必ずかないます。

以上です。

佐藤議長 以上で、柳田航佑議員の一般質問を終わります。

次に、6番目の通告者は、河嶋小春議員です。

質問の項目は、町民プールについて（健康増進のため、町民プールの建設を望む）です。

以上、河嶋小春議員。

河嶋小春議員 議席番号6番、河嶋小春です。

私は、福崎町にプールがあったらいいと思います。

1つ目の理由は、お年寄りの方々が健康のために運動することで、体にいいと思ったからです。

私は亀坪に住んでいます。亀坪には、お年寄りの方々がたくさん住んでいます。そのお年寄りの方々に、安全に登下校するために見守ってもらっていて、いつもお世話になっているので、優しく接してくれるお年寄りの方々に、いつまでも元気に長生きしてほしいと思うからです。

2つ目の理由は、夏休みに地区水泳があります。でも、同じ地区の友達や、同じ学校の友達としか遊べません。だから、違う小学校の子たちとも遊べると、たくさん友達も増えるので、いいと思いました。

3つ目の理由は、私は習い事で加西のスイミングに習っていて、それが遠いからです。福崎町にプールをつくることで、友達もふえたり、みんなに健康でいてもらうことができたりすると思います。

こういった3つの理由から、値段も安く、町内の子どもからお年寄りまで行けて、大勢が入れるプールがあったらいいと思います。

社会教育課長 昨年、図書館の隣に新たな町有施設として、さるびあドームがオープンしました。

さるびあドームを計画したときには、温水プール建設の案も検討しましたが、温水プールは、ものすごく維持するためのお金がかかりますので、ドーム施設の建設を選択いたしました。

今、日本は人口減少社会になっています。将来の世代に借金を残さないためにも、町のお金も賢く使う検討をしないといけません。

昨年、姫路市を中心とした、播磨地域の8つの市と8つの町で連携するための協約を結びました。

この制度は、地域において中心都市の姫路市が近隣の市町と連携してサービスの向上を行うことを目的としています。

例えば、この制度で、福崎町の図書館は大きく新しいので、近隣の市町の人が大勢利用し、本の貸し出しも大幅に増えています。

そうやって、地域にないものは、近くの市町と協力し合って使いましょうというのが今の流れとなっております。

福崎町内にプールがあるほうが近くていいのはよくわかりますが、近隣の市町にあるプールを利用する方法もあります。

さるびあドームも、皆様の健康増進のための施設として、大変喜ばれております。高齢者の方は、グラウンドゴルフの利用が多いのですが、屋根があるので、雨の日や夏場でも利用でき、好評の声を聞いておりますので、河嶋議員さんの周りのお年寄りの方々にも勧めてみてほしいと思います。よろしく願いいたします。

佐藤議長 以上で、河嶋小春議員の一般質問を終わります。

ここで、しばらく休憩します。

再開は10時40分とします。

◇

休憩 午前10時25分

再開 午前10時40分

◇

事務局長 それでは、ここで議長を交代します。

後半の議長を務めていただきます福崎東中学校の日下部奈央議員、議長席に着席をお願いします。

日下部議長 私は、福崎東中学校の日下部奈央です。

本日の子ども議会の後半の議長を務めます。どうぞよろしくお願いいたします。それでは、休憩前に引き続き、会議を再開します。

7番目の通告者は、白井悠翔議員です。

質問の項目は、交通安全対策について（通学路に信号機の設置を望む）です。

以上、白井悠翔議員。

白井悠翔議員 議席番号7番、白井悠翔です。

それでは、質問を始めます。

僕は、八千種校区の子どもたちが、安全に過ごすために、車の通行が多い道路に信号機の設置を望みます。

八千種校区には、香寺と加西を結ぶ、車の通行が多い県道があります。そこは、僕たちの通学路で、毎日そこを横断して学校に行っています。

僕は、毎日学校へ行くときに困っていることがあります。それは、僕たちが横断する道路を、スピードを出して走る車があることです。

これまでも、スピードを出して走ってきた車と接触しそうになったことがあります。

他にも、携帯電話を操作しながら運転する、ながら運転をしている車に、ぶつかりそうになったという話を聞いたこともあります。

八千種の道路は、道幅が狭い場所がたくさんあり、そこを歩いて帰っている子どもたちもいます。

このような道路には、子どもたちが通ることを知らせる看板をもっとたくさん設置してほしいです。そして、信号機をつけたり、歩道を広げる工事をしたりして、僕たちが安心して、安全に通行できる道路にしてほしいです。よろしくをお願いします。

以上です。

住民生活課長 信号機をつけるのは、警察ですので、関係集落の区長さんや校区のPTAなどから、信号機をつけてもらいたいと言われますと、町から警察につけてもらうようお願いをしております。

香寺と加西を結ぶ県道については、鍛冶屋から庄へ横断するところと、大門、余田新田を通っているほ場整備でできた新しい道路との交差点のところに信号機をつけてほしいということは、以前から聞いております。

この他にも、町内8カ所に信号機をつけてもらいたいと言われているところがありまして、10カ所つけてもらいたいということで、警察のほうには、今、お願いをしているところでございます。

信号機をつける要件としましては、歩行者が信号待ちをする、できるスペースが両側にあることや、カーブの途中や、カーブの前後ではない、見通しのよい場所であることがあります。

これらの条件を満たしてしましても、1年間に兵庫県内でつけられる信号機の数は、予算の関係で限られていますので、警察にお願いをしましても、すぐにつけてもらえる可能性が低いのが現状であります。

また、歩道をつくることについては、県道ということで、兵庫県が工事を行うことにはなりますが、必要な用地を買ったり、工事をするのにたくさんの費用がかかることから、今のところ歩道をつける予定はございません。

すぐに信号機や歩道ができるというわけにはいきませんので、通学路であることを車の運転者に知らせる標識や看板をつけるなどの交通安全対策を検討して、実施していきたいと思っております。よろしくをお願いします。

日下部議長 以上で、白井悠翔議員の一般質問を終わります。

次に、8番目の通告者は、西井麗愛議員です。

質問の項目は、春日山城について（春日山城を中心にしたイベント開催を望む）です。

以上、西井麗愛議員。

西井麗愛議員 議席番号8番、西井麗愛です。

私は、八千種地区をもっとみんなに知ってもらうために、春日山で何かイベントを開催してほしいです。

八千種地区は、歴史があって、有名なものでは春日山城があります。羽柴秀吉に攻められて落城したそうですが、この春日山城を、もっとみんなに知ってもらいたいです。

八千種小学校の校歌には、「前にそびえる春日山」という歌詞が出てきますが、

毎年、1年生の歓迎遠足では全校生で登っています。

私が低学年のころは、登山道がでこぼこでしたが、2年前からきれいに整備されて安心して楽に登れるようになりました。これは、地元、八千種のたくさんの方々が、私たちの知らないところで春日山を登りやすくして下さっていると聞きました。そのおかげで、頂上に登ったときは、景色もすばらしかったです。

八千種といえば春日山というふうに、私たちには、ふるさとを代表する山なのです。

ふるさと八千種のことを、もっとたくさん知ってもらうためには、春日山のイベントが必要だと思います。ぜひ、イベントの企画をお願いいたします。

農林振興課長 福崎町第5次総合計画には、春日山について、播州後藤氏の本拠である春日山城跡があり、それを観光資源として活用する必要があるというふうに記載がしてあります。

春日山の整備につきましては、お城の建設には至りませんが、平成26年に案内看板の付替を行ったり、山道の階段の修繕、山頂のベンチの取替、また、地元の協力のもとに、山頂付近の草刈りや低木の伐採を行いまして、見晴らしをよくしました。

平成27年にも、庄地区から山道の整備や山頂東側の低木等の伐採を行いまして、朝日が昇る様子も見ることができるようになったと、喜んでいただいています。

幸い、近いうちに地元有志で、春日山城跡を研究する会を発足するというふうに聞き及んでおります。研究会におかれましては、春日山城だけではなくて、春日ふれあい会館、グラウンド、キャンプ場、体験農園その他につきましても、いろいろ議論していただいて、周辺の施設の利用客の増と春日山の観光が相乗効果をもたらすような方策をご提案いただき、整備計画を進めていきたいと考えております。

もともと、この春日山城跡を研究する会の目的は、地元の歴史的な場所である春日山について、子どもたちに伝えていかなければならないということで発足したというふうにも聞いております。

イベントの企画につきましては、地元の皆様が中心となって議論していただくことが大切であると考えております。

春日山城のよさを再認識するため、いろいろな企画について、町に対し、ご提案いただき、地元と町と一緒に考えて連携して取り組むことによって、西井議員の思いが達成されるものと考えております。

以上です。

日下部議長 以上で、西井麗愛議員の一般質問を終わります。

次に、9番目の通告者は、辻川誠大議員です。

質問の項目は、福崎駅周辺整備について（商業施設整備、買い物ボランティアの整備は）、高齢者福祉について（高齢者が集える場所の充実を）です。

以上、辻川誠大議員。

辻川誠大議員 議席番号9番、辻川誠大です。

かつて、福崎駅前には商店街があり、大変にぎわっていたと聞いています。しかし、現在は、田原地区にお店が集中し、かつてのお店はほとんど店を閉めてしまいました。

福崎町も高齢化が進んでいます。元気に車が運転できるうちにはいいのですが、高齢になれば、それもできません。結果、買い物に困るお年寄りがふえると思います。

今回、福崎駅前が再開発されます。この機会に、商業施設も整備してほしいと思います。

駅利用者だけでなく、周辺に住むお年寄りの利便性も考えたものにしてほしいです。

また、買い物ボランティアを置くのはどうでしょう。必要なものを買い物してきて、届けるのです。こんなボランティアなら、僕でもできそうです。

これも高齢化にかかわることですが、お年寄りが集える場所があることは大切です。各地区にふれあい喫茶がありますが、利用者が少ないです。広報をしっかりと、ふれあい喫茶の無料コーヒー券を配布するのもいいと思います。

他にも、スポーツなどを通して、お年寄りが集える場所をふやしてほしいです。

こうした取り組みを積極的に行って、お年寄りが生き生きと暮らせる福崎町をつくってほしいと思います。

以上です。

技 監 1つ目の、福崎駅周辺整備に関するご質問について、私の方から回答させていただきます。

辻川議員が考えられているとおり、全国的に少子高齢化が急激に進んでおり、人口も減少してきます。福崎町も例外ではありません。

そのため、町の機能をできるだけ集約して、便利に生活できるようにすることや、鉄道やバスなどの公共機関の利便性を高めて、現在の福崎町の人口を維持していくことが必要であるというふうに考えております。

福崎駅周辺整備の目的の1つに、高齢者の方が自分で車の運転ができなくなっても、歩いたり、また、町内の巡回バスなどを使って、福崎駅まで来ていただき、電車で姫路市の大きな病院に通院したり、駅の近くの食料品や日用品の買い物ができるようにするなど、にぎわいと憩いをつくり出すことがあります。

具体的には、現在、バスの発着している交通広場の周辺を整備して、スーパーマーケットなどの店を経営したい方を募集するなど、商業施設等の誘致を進めているところです。今後も辻川議員を初め、町民の皆様からいろいろなアイデアを、また、ご協力をいただきながら、福崎駅周辺整備事業の目標である、訪れやすく、住みやすい町、福崎の実現を目指していきたいというふうに考えております。

以上です。

健康福祉課長 高齢者の件につきまして、私の方から答弁をさせていただきます。

高齢者が住みなれた場所で、安心して心豊かに過ごしていただくには、辻川議員の言われるとおり、身近に集うことができる場所がたくさん必要です。

そのためにも、高齢者にはできるだけ元気で長く地域社会で活躍をしていただきたいと思います。

さらに、支援を必要とする仲間を支える支援の担い手になっていただきたいと考えます。買い物ボランティアに高齢者自身が参加し、役割があることが生きがいとなり、ますます元気になっていただければ、ありがたいです。

そのためにも、高齢者の外出の機会や、地域づくりのための交流にもなる、月1回のふれあい喫茶など、今あるものを、もっと参加したいと思える事業にし、心と体の健康づくりをしていきます。

利用の少ない男性の参加についても、工夫をしながら、徐々に増やしていけるようにしたいと思います。

また、このようなサービスがあったらいいのにといい高齢者の声を大事にして、新しいサービスを検討します。

ふれあい喫茶は、1つ目として、全部の集落が実施していないこと、2つ目に、

100円から200円と、誰もが支払いやすい参加費になっていること、それから3つ目に、支払うほうが遠慮せずに参加できるという方がいること、などから、無料コーヒー券の配布は考えていませんが、地域で行われるこれらの事業は、議員の言われるとおり、高齢者にとって、身近で大切な事業であることから、この活動を支えるために毎年補助金を出しています。

高齢者は、若い人との交流で元気をもらうことが多いですので、皆さんの力を、ぜひ地域の高齢者に届けてください。よろしく願いをします。

日下部議長 以上で、辻川誠大議員の一般質問を終わります。

次に、10番目の通告者は、羽室美彩妃議員です。

質問の項目は、災害（地震）対策について（災害に対する備えはできているか）です。

以上、羽室美彩妃議員。

羽室美彩妃議員 議席番号10番、羽室美彩妃です。

福崎駅前開発のパンフレットを見ました。未来の福崎町の玄関が生まれ変わることにくわくわくしています。「つなげよう、ひろげよう、未来に続く福崎町」のキャッチコピーにふさわしいと思います。

しかし、福崎町は山崎断層が通っている町です。明日にも熊本地震のような大地震が起こるとも限りません。駅前開発は大切ですが、地震対策も早急に行ってほしいです。

西中の体育館も、地震に備えた工事がありました。役場や避難所となる施設の耐震化は進んでいるのでしょうか。

大地震では、山崩れや堤防の決壊も考えられます。山が多く、市川が流れ、ため池も多い福崎町では、洪水だけでなく、地震を想定した対策も必要なはず。です。

地震は、避けることはできません。ですから、地震が起きた後の混乱を防ぐための対策も必要です。避難所までの物資の輸送は大丈夫でしょうか。避難所での食事やトイレの問題は大丈夫でしょうか。要支援者のための福祉避難所の設置は大丈夫でしょうか。心のケアも考えないといけません。まだまだ想定しておくことはあると思います。

私は、まちづくりで一番大切なことは、安全・安心だと考えています。

地震を初めとする災害に備え、さまざまな施策を実行し、災害に強い福崎町をつくってほしいと思います。

住民生活課長 役場などの避難所となる公共施設の耐震化につきましては、ほとんどできておりますが、文化センターとスポーツ公園にあります第2体育館については、できておりません。

それから、文化センター隣の第1体育館は、現在、耐震化工事を行っているところで、今年には耐震化ができる予定となっております。

山崩れなどの対策としましては、山崩れの際の土砂を防ぐために、山と民家との間にコンクリートの壁を造ったり、土石流を堰き止めるためのコンクリートのダムを山の中に造ったりしております。

ため池については、ため池一斉点検を行ったり、全てのため池というわけにはいきませんが、未改修で、特に危険度の高いため池については、ため池耐震点検を行っておりまして、今後、改修をしていくこととしております。

市川の地震対策としましては、地震で橋が落ちないように、落ちて川などを堰き止めないように、東西を結ぶ幹線道路の橋については、耐震化を行っております。

災害発生の物資の輸送につきましては、県や民間の会社などの協力も得ながら

輸送を確保することとしていますが、町外との大きな道路などが通行できなくなり、車での輸送が難しい場合は、県や自衛隊のヘリによる輸送を依頼することになります。

食料については、町に2カ所あります防災備蓄倉庫に非常食や飲料水を備えています。町による備えにつきましても限度がありますので、各家庭におきまして、1人3日分の食料を備えていただくよう、お願いをしているところです。

また、災害発生時に、より早く、スムーズに物資を渡すことができるように、町内のスーパーやホームセンターと災害時の食料や物資の供給に関する協定というのも結んでおります。

トイレにつきましても、災害用の簡易トイレを防災備蓄倉庫に備えておりますが、今後も計画的に増やしていくこととしております。

福祉避難所の設置につきましても、現在、民間の施設も含めると6カ所を指定しております。引き続き、要支援者の状況により、増やしていけるよう考えていきます。

また、心のケアにつきましても、災害の大きさや被災の状況、一人一人の気持ちの持ち方によって変わってきますが、保健師が中心となり、ケアの必要な方に早目の対策を行うことと、いうこととしております。

災害時には、まず、自分の命は自分で守る、自分のことは自分で何とかするということが大切になります。そのための準備も、住民の方には行っていただきたいというふうにも思っております。

羽室議員が言われますように、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりに今後も引き続き努めていきたいと考えております。

以上です。

日下部議長 以上で、羽室美彩妃議員の一般質問を終わります。

次に、11番目の通告者は、藤本卓也議員です。

質問の項目は、観光（妖怪・もち麦）について（これからの福崎町の観光振興方針・方策は）です。

以上、藤本卓也議員。

藤本卓也議員 議席番号11番、藤本卓也です。

福崎町で有名になっているものといえば、柳田國男さん、もち麦料理、妖怪などが挙げられると思います。

その中でも、河童が池の中から出てきたり、天狗が空を飛んでくるアトラクションは、テレビでも特集されるなど、注目を集めていると思います。

妖怪に力を入れようと思われたのは、いつからですか。また、なぜですか。

僕は、第2回全国妖怪造形コンテストに応募したことがあるのですが、今、作品を募集している第3回目のテーマの、ぬえ、座敷童子、マヨイガはモニュメント化されるのですか。また、モニュメント化されるとすると、どの場所につくられるのですか。

河童や天狗を見に来る人は、すぐ横にあるもちむぎのやかたに立ち寄り、食事をしたり、お土産を買ったりすることが多いと思うのですが、もち麦商品の中で一番売れているものは何ですか。

福崎町は、個性的な方法で観光を盛り上げていて、すごいなと思います。これから福崎町は、どのようなことに力を入れ、どのような取り組みを考えておられるのですか。

地域振興課長 妖怪に力を入れ始めたのは、平成25年度からです。

福崎町で生まれた、民俗学の父といわれる柳田國男さんが書かれた「妖怪談

義」や「故郷70年」などの本の中に、河童や天狗を含めたさまざまな妖怪が登場します。

特に河童については、市川の駒ヶ岩で子どもたちにたいそう悪さをしていたと書かれていることから、この悪さをする怖い河童が、公園の池から出てきたら、おもしろいだろうなというふうに考えました。

その河童が、テレビや雑誌で取り上げられ、観光客がいっぱい来てもらえるようになったので、小屋から飛び出す逆さ天狗を設置するなど、特色ある観光地として整備をしています。

次に、藤本議員も応募していただきました、第2回全国妖怪造形コンテストで最優秀作品となった、山の神のモニュメントを今年度中に整備したいと考えておりますが、設置場所については、公園全体のバランスも考えながら、決定していく予定です。

同様に、第3回最優秀作品についても、モニュメント化していきたいと考えています。

もちむぎのやかたの売店で、平成27年度中に最も売れた商品は、半生のもち麦めんです。

この暑い時期には、冷やしもちむぎ麺として、冷たいつゆにつけて食べるのが最高です。4人前1,029円で売っておりますので、また、買って食べていただけたらと思います。

最後に、福崎町が元気な町であり続けるために、議員の皆さんが今後、高校、大学などに進学されるときに、一時的に町外で住まれることがあるかもしれませんが、就職や結婚するときには、福崎町に帰ってきて、ずっと住みたい、住み続けたいと思えるような町をつかっていきたいと考えています。

そのために、10年間の計画をつくり、一歩ずつ目標に近づけるよう、頑張っているところでございます。

以上です。

日下部議長 以上で、藤本卓也議員の一般質問を終わります。

次に、12番目の通告者は、大塚まひろ議員です。

質問の項目は、農業（獣害）について（福崎町の獣害対策及びその広報は）です。

以上、大塚まひろ議員。

大塚まひろ議員 議席番号12番、大塚まひろです。

私は、福崎町の獣害対策について、質問したいと思います。

私の家には、畑や田があり、野菜や米などを育てています。

最近、害獣によって、その作物が食べられたり、掘り返されたりと被害がふえています。

害獣といえば、以前はイノシシやシカなどが代表的でしたが、今、被害を及ぼしているのは、アライグマです。

兵庫県は、全国的に見ても、アライグマの生息率が高い傾向にあるため、被害も増えていると思います。

私の家の畑では、アライグマによってトウモロコシが全滅したそうです。畑作業をしている、おじいちゃん、おばあちゃんに福崎町がとっている対策を聞いてみましたが、余り知らないようでした。

福崎町のホームページで調べてみましたが、余り目立った対策は載っていませんでした。

害獣の被害で困っている人はたくさんいると思うので、何か対策をとったほう

がいいと思います。

他の町でとられていた対策では、駆除用の檻のようなものを町が貸し出しして、誰でも借りることができたり、マニュアルを町が作っていて、誰でも見られるようにしたりなどの対策がとってありました。福崎町でもきちんと対策を考えて、町中に広めていってください。

もし、今、対策がとってあるのであれば、広報活動に力を入れていってほしいと思います。

農林振興課長 アライグマの被害を防止・減少させるための捕獲活動ですけれども、福崎町では平成18年度から、福崎町猟友会に捕獲を委託しております。初年度は62頭捕獲しておりますけれども、最近の3年間では、25頭、38頭、20頭となっています。

捕獲箱は、全部で23基ありまして、このうち13基を猟友会に貸し出ししており、残り10基を一般貸出用に農林振興課で保管しております。

現在、全ての捕獲箱が貸し出し中でもありまして、苦情の相談があったときに、捕獲箱の話をさせていただいて、貸出中の捕獲箱が返ってくれば、申出人に連絡をさせていただいております。

貸出の際には、捕獲箱の取扱方法や、えさの交換の仕方を示したチラシをお渡しししまして、捕獲の連絡を受けると、猟友会に適切な処分を依頼しております。

まだまだ被害の報告がある状況で、生息数も極端に変化がなく、捕獲数も減った原因としましては、アライグマも賢くなったのか、なかなか罠に捕まらなくなったとも聞いております。

捕獲箱の周りの状態やえさのやり方にも工夫が要るのではないかというふうに考えております。

大塚議員がご指摘のとおり、アライグマの被害対策については、まだまだ住民の皆様への周知が不足していると実感しております。

今後も動物被害を防止するための行動を、広報に掲載したり、区長様への文書を通じて、住民の皆様へ広報活動を努めてまいりたいと思っております。

以上です。

日下部議長 以上で、大塚まひろ議員の一般質問を終わります。

これもちまして、本日、予定しておりました日程が全て終了しましたので、福崎町子ども議会を閉会したいと思います。ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

日下部議長 異議なしと認めます。

よって、福崎町子ども議会を閉会することに決定しましたので、閉会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、子ども議員の皆さんには、長時間にわたり、大人とは異なる視点で福崎町を未来へとつなげる、よりよいまちづくりのための質問、提案をしていただき、ありがとうございました。

また、町幹部の皆さんには、子ども議員からの質問、提案に丁寧な回答をいただき、ありがとうございました。

子ども議員から提案された意見、要望事項を、福崎町の発展のための参考にさせていただくことをお願いして、閉会の挨拶とします。

最後に難波議長からご挨拶をいただきます。

難波議長 ただいま紹介をいただきました、議長の難波でございます。

本日は早朝から子ども議会に、子ども議員14名、先生や保護者、多くの方々の参加を得て、盛大に開催することができました。厚く御礼を申し上げます。

子ども議会を開催しましたのに二つの理由がございます。

一つは、本年から選挙年齢が18歳に引き下げられます。

7月の参議院選挙では、18歳以上の方が投票をされました。投票の状況を見ますと、県全体の投票率は58%、18歳、19歳の投票率は44%でございます。全体に比べ、9ポイント下回っておるわけでありませぬ。

この傾向につきましては、過去の参議院選の投票率は、平成26年は全体は52.66%、20代は32.58%、若年層の投票率が約29%低くなっております。

過去から低い状況が続いておりますが、大変、残念なことだというふうに思っております。

選挙制度は、1889年、明治22年から始まりました。このときの投票者、25歳以上の男性で、国税、国の税金を15円以上納めている人でなければ投票権はございませんでした。1925年、大正14年から納税の条件がなくなりました。しかし、投票できるのは男性のみであります。女性の方は投票できなかったわけでありませぬ。

女性が投票できるようになったのは、昭和20年からなんです。

子ども議員の皆さん方は、18歳になれば、ぜひ、投票に行っていたきたい。中学3年の方は、あと3年もすれば投票権ができるわけでありませぬ。

自分の考えと、同じ政党であるとか、立候補者の方に投票をしてください。そうしないと自分の考えておる世の中にはなりません。

投票で政治は動いていきます。その点を十分認識をしていただきたいと、こういったこととございませぬ。

二つ目は、冒頭に町長が申し上げましたように、福崎町は田原、八千種、旧福崎町、この3カ村が合併をして、福崎町、新生福崎町が誕生をいたしました。今年、60周年の記念すべき年でありませぬ。

そういったことから、記念イベントとして、子ども議会を開催をいたしました。

子ども議員12名の皆さんからは、多方面にわたって、いろいろと質問をいただきました。議員の質問と、かなり、やはり違った面があったのかなというふうに考えております。

こちら側におられる町部局の方は、いろいろな議案を提案します。予算がどうか、条例がどうか、そういったことを提案します。そして今、皆さん方が座られておる議員席で、議員からいろいろ質疑が行われます。そして、最終的に決定をされます。

そして、決定された内容に基づいて、またこちらの行政の皆さん方は、それに基づく事業をやっていくと、そういう仕組みになっております。

議会と行政と、立場は違いますが、最終的には、町民の皆さん方の福祉の向上であるとか、安心・安全なまちづくりをするというのが行政と議会の仕事でございます。

今後は、子ども議員の皆さん方の意見も十分踏まえて、安心・安全な福崎町をつかっていきたいというふうに思っております。

最近、心配しておるのが、先ほども質問がございましたように、自治体がなくなる。八百九十何ぼかですか、そういう情報もあります。

自治体がなくならないためには、やはり、子ども議員の皆さん方が、しっかりと将来のまちづくりをやっていただきたい。

21世紀は皆さん方の時代だと思います。地域力が最近はなくなっておるのではないかというふうに思います。一番最小の自治会の中でも、自治会に入らな

いとか、また、自治会の各種団体に入らない、また、事業に参加しない、最終、なくなっても、家族だけで自治会が集まって事業をやるということは、もうほとんどなくなってきたと、地域力がもうなくなってきたというふうに思います。

皆さん方で、新しい、すばらしい21世紀の福崎町をつくっていただきたいと
思います。

最後に、皆さん方に3つ質問をいたしますので、挙手をお願いをしたいと思
います。

こういうのはね、反問権というんです。行政から、逆に議員の皆さん方に質
問をするという、そういうこともあり得るわけです。

それではまず、1つ目に、今回、子ども議会に出てよかったといわれる方、手
を挙げていただきたいと
思います。

(挙手するものあり)

難波議長 二、四、六、八、十。はい、わかりました。ありがとうございます。

それと、2点目、先ほど投票について、いろいろと申し上げました。投票権が
できれば、投票に行くという方、挙手をお願いいたします。

(挙手するものあり)

難波議長 はい、ありがとうございます。

投票に行かないという方がおられますが、ぜひとも投票に行っていて、
そして、自分の思いを政党なり、また個人に投票をいただきたいと
思います。

また、将来、議員、町長、国会議員、こういった、立候補して、そういった仕
事をしたいと思われる方、おられたら手を挙げていただきたいと思
います。

(挙手するものなし)

難波議長 おられませんか。ありがとうございました。

皆さんの思いを取り入れた福崎町のまちづくり、我々の時代は我々で頑張って
いきたいと、そして、もう皆さん方にバトンタッチする日は間近でありますので、
皆さん方にバトンタッチをして、そして、この福崎町がなくならないように、大
人も子どもも老人も、みんなで頑張っていきたいと、このように
思います。

本日はどうもありがとうございました。

日下部議長 それでは、これをもちまして閉会とします。お疲れさまでした。

閉会 午前11時22分

上記会議録は、書記の作成したものであるが、内容の正確を証するため署名する。

平成28年10月

福崎町子ども議会議長 佐藤 充

福崎町子ども議会議長 日下部 奈央

福崎町子ども議会議員 辻川 誠大

福崎町子ども議会議員 藤本 卓也